



職人紹介 Shokunin File

昨年の春から棟梁六人衆に加わった後藤棟梁。この道 32 年の大ベテランです。国内有数の建築工房で経験を積んだ技巧派。簡単な図面だけで細部まで完璧に仕上げます。大工と現場監督を一人でこなす、筋金入りの棟梁です。

愛用の玄能は大工修行を始めたときに師匠から譲り受けたもの。木の柄を何度もつくり替えて30年以上も使い続けているというのも、後藤棟梁らしい律義さの証でしょう。信条は「めんどうがらずに何でもやること」。たとえば、床を貼るときにもムク材の色味や木目が揃うように並べるなど、見た目の美しさにもこだわっています。言葉少なながら周囲に目を配り、率先して動く仕事ぶりは誰からも信頼されています。一方、現場を離れて職人仲間と会食する際には聞き役に回ることが多いとか。どんな時でも周りを和ませる優しい笑顔で、ナルシマの家づくりを支えています。

棟梁
後藤 秀孝
(54)



見た目にも美しく
仕上げられると
嬉しくなりますね。



本社ナカ棟の現場でも大活躍。



見えるところも見えないところも丁寧に。



愛用の玄能の柄は手づくり。

Shokunin File.09

Hidetaka
Goto